

ユニバーサルデザインを考えよう!

問合せ 保健福祉局障害保健福祉推進室 ☎ 222-4161 FAX 251-2940

「ユニバーサルデザイン」と聞いても

「なかなかぴんとこない…」という方は
多いのではないのでしょうか?

「ユニバーサルデザイン」について、
一緒に考えてみましょう!



障害保健福祉推進室
マスコットキャラクター
エミー

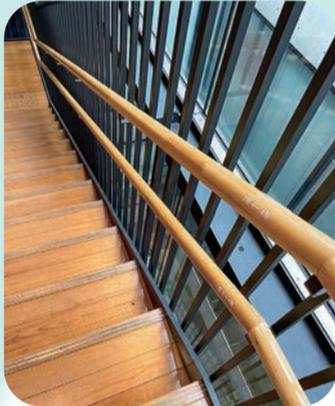
ピクトグラム

言葉を使わずに情報を
伝えるデザイン。
何がどこにあるのか誰
でもすぐにわかります!



実はこれ、 ユニバーサルデザイン なんです!

普段よく見かけるものにもユニバーサルデザインは
使われています。どれも「誰でも使える」ように
デザインされていることがわかりますね。



高さが違う手すり

「どうして2本も手すりがあるの?」と不思議に思ったこ
とはありませんか? 背が高い人も低い人も使いやすい
ように2つの高さの手すりがつけられているんです!

ボタンが2つある 自動販売機

高い位置にあるドリンクのボタンが下の方
にもついていて、高いボタンが届かなくて
も、好きなドリンクを買うことができます!



一見ものづくりだけに関係ありそうな
「ユニバーサルデザイン」。
実は誰でもいつでもどこでも
できるものがあります。それは…



「こころのユニバーサルデザイン」

あなたのちょっとした気遣いが、
他の誰かにとって素敵な
ユニバーサルデザインになるんです。

バスや電車の席を譲る

お年寄りや妊婦さん、ヘルプマークを
つけた人など、揺れる車内で立ってい
ることが難しい人に席を譲る気持ちが
ユニバーサルデザインに。



点字ブロック上に物を置かない

点字ブロックは視覚障害のある人にとって
大切な道しるべです。その上に自転車を止
めたり、荷物を置いたりしない心がけもユニ
バーサルデザインです。



困っている人に声をかける

荷物で手がふさがっている人にドアを
開ける、道に迷っている人に案内する
など、少しの声かけが相手にとって大
きな助けになります。

あなたの思いやりも大切な
ユニバーサルデザインです。
いつもより少しだけ想像力を働かせて、
できることから始めてみませんか?

